

# 総務にゾンビが やってきた！

*produced by cage*



## まえがき

---

収録されている「総務にゾンビがやってきた！」は、2011年に書かれたみさとあきら作品です。

『ゾンビ祭り』（2011年9月18日～11月13日に開催されたネットイベント）に出展いたしました。

コメディですが、ゾンビという題材を扱ったもののため、不愉快な表現が含まれている可能性があります。また、ホラーを求める方には物足りないものになっていることでしょう。その点、ご承知の上、お読みくださいますようお願い申し上げます。

表紙使用のイラストは16snow様（ソザイジテン<http://sozaijiten-business.rashu.jp/>）からお借りしました。ありがとうございます。

## まえがきともくじ

まえがき	.....	1
もくじ	.....	2

## 総務にゾンビがやってきた！

ゾンビ者雇用促進法	.....	3
新人、ただしゾンビ者	.....	4
ゾンビ者塔子の日記	.....	5

## あとがきとコピーライト

あとがき	.....	6
コピーライト	.....	7

## ゾンビ者雇用促進法

---

――働くゾンビ者、働くことを希望するゾンビ者を支援するためゾンビ者の就業機会拡大を目的とした各種施策を推進するべく、ゾンビ者雇用促進法が平成2×年4月1日より施行されます。

「鬼塚くん、この前のはどうなってる？」

岩村部長に呼ばれ、俺は資料を持って部長のデスク横に椅子を置いた。座る。

「やっぱりゾンビ者を新規に雇用しないといけないみたいです。今日、職安で説明会があるので参加したいと思っていますんですが」

「しかしゾンビ者だろう。いきなり営業や技術部には置けないな。……総務の仕事は、人手が足りないとの前言ってなかったかね？」

Create All Good Eating、略してCAGE。株式会社CAGE総務部で、俺は人事労務を中心とした仕事をしている。CAGEの主たる業務は、業務用調理器具および厨房機器の製造販売とメンテナンスで、お客様は小さな料理店から給食所まで幅広い。

総務の人手は確かにちょっと足りない。人事労務を扱っているのは俺と次長の2人だけ、部長の他にあと4人いるが、経理はその人数でもぎりぎりなんだそうだ。俺も時々伝票打たされるし。

「そうですね、テストケースとして事務補助でも求人かけてみましょうか」

数年前、ゾンビウィルスが流行った。感染力は強くなかったのだが、場合により死にも至る危険なウィルスで、その時はCAGEでも「感染しない十か条」とか「家族が感染した場合の取り扱い」とか、そういう文書をいくつも作って社内BBSに載せた。作ったのは俺だ。総務部は何でも屋さんである。

幸い社員やその家族が感染したという報告はなく、ワクチンも作られ、もう怯えることはない。しかし、ゾンビウィルスで亡くなった患者たちは、体が死んでいるのに普通に生活をしているというのだ。厚生労働省が統計を取ったところ、全人口の約0.8%はゾンビ者なのだという。

「せめて障害者枠に入れて法定雇用率を上げるとかだったらなあ」

デスクに戻り資料をばらりと散らかして、椅子で伸びをする。総務の仕事には波がある。たとえば経理担当は月の終わりと初めや年度初めに激しく忙しいし、俺は新卒採用をほとんど一人でやっているの、会社説明会が始まる12月から試験が終わる5月くらいまではやばいくらい忙しい。

障害者なら法定雇用率よりも多く雇っている。誰が障害者なのかは社内の個人情報取り扱い規定により、俺と次長と総務部長しか知らないことになっているけれど。まあ実際は一緒に業務やってりゃ判るよね。

資料に目を通す。「ゾンビ者雇用促進法について」と題されたパンフレットだ。基本的なシステムは障害者雇用促進法と同じ、と俺は読んだ。つまり、法定雇用率に満たない場合は不足1人辺り1ヶ月当たり5万円（しばらく猶予期間として4万円らしいが）を納付しなければならない。多ければ逆に調整金が支給される。

なんだか、高齢者と障害者の雇用支援をしていた行政法人も、高齢・障害・ゾンビ者雇用支援機構と名前を変えている。

挟まっていたチラシに目が行く。「ゾンビ者を職場に迎えるために人事担当者が読む本」。これ、シリーズだよな、確か。そうだ、職安に行くついでに書店に寄ろう。この本、買ってみよう。まあ買ってみても蔵書にすれば金は戻ってくるし。

「じゃ、職安行ってきます」

脱いでいたジャケットを羽織り、行き先ホワイトボードに「ハローワーク NR」と書き込み鞆を持つ。

「ゼンメイさん行ってらっしゃーい」

「行ってらっしゃーい」

「気をつけてー」

経理担当は忙しくないらしい。それに俺はゼンメイじゃない、善明（よしあき）だ。俺は総務に入ったのが一番遅いからなんだかいじられてばかりだ。新規に雇用するなら俺の業務を手伝ってもらいたい。そしてちゃんと「鬼塚さん」と呼んでもらうんだ。

## 新人、ただしゾンビ者

---

テストケースとして総務に1人ゾンビ者を雇ってみようと、俺は求人票を書いた。条件は最低賃金から算出した日給月給で、事務補助の仕事内容、エントリーの仕方（電話でエントリー後に郵送で履歴書を送ってもらうことにした）、会社へのアクセスと連絡先を書き込み、「ゾンビ者」と書いてある枠にチェックを入れる。そして職安に持っていった。

1週間で5人からのエントリーがあったので、職安に電話をかけ、募集を締め切ってもらった。

履歴書に目を通したが、皆、それなりに良い経歴を積んでおり、書類だけではどう選んだものかわからなかった。まあ、内定出すのは部長だし、面接も行うから今すぐどうこうってことはないんだけど。岩村部長がデスクに戻ってきたので履歴書をまとめて手渡す。

「ああ、ゾンビ者のね。面接は来週だったかな。4部コピーを取っておいてくれ」  
言われたのでコピーを取る。人事関連の雑務は俺しかやる人がいない。

面接は岩村総務部長、田川総務次長、遠藤経理主任、俺の4人で行われた。遠藤主任だけが女性。

受験者5人のうち4人が男性で、1人が女性だった。5人とも礼儀正しく、ゾンビ化のせいか声がかくぐもっていたがやる気は充分に感じられた。俺1人だったら選べなかつただろうと思う。営業や技術部の採用なら段取りは俺がしているけれど、俺自身の部下を選ぶなんて初めてだ。面接が終わってミーティングをしていたが、遠藤主任が「この有馬さんって良かったと思います。若いし、笑顔が良かった」と声を上げた。有馬塔子。唯一の女性だ。ゾンビ者の面接で笑顔を見るとは、女性の視点はよくわからない。だが、人事としては本当はそういうところこそみるべきなんだろう、と反省する。ミーティングの結果、有馬さんに内定を出すことが決まった。

残念ながら不合格となった4人に履歴書を送り返す。「ご活躍をお祈りいたします」と書かれたいわゆるお祈りメールと共に。

就労前に有馬さん呼び出した。制服のサイズを見たり、就業に当たって補助してほしいことを聞き取ったりするためだ。有馬さんはグレーのスーツを着ていた。皮膚の色を隠すための化粧は厚いが元の顔は幼くも見える。履歴書によると満26歳とあったのだが。

と、ここで「ゾンビ者を職場に迎えるために人事担当者が読む本」で読んだことを思い出す。ゾンビ者は死んだときのまま外見の成長が固定されると、そういえば書いてあった気がする。ちなみに生肉を食べることもないらしい。活動のために砂糖を食べ、腐敗を防ぐために防腐剤を飲んだり塗ったりするらしい。というにわか知識。

「ちょっと、興味で訊くんだけど、何歳でゾンビに？」

言ってしまうってから気分を害す質問だったかな、と思う。有馬さんは小首をかしげて笑っている。嫌な質問ではなかったようだ。

「大学に入ってすぐだったんで、18歳ですかね。それから体は成長してません。子供っぽいですかね」

困ったように笑う。

「面接のときもお話しましたが、4週間ごとに病院で防腐剤を処方してもらわなくちゃいけないんです。一応、通院日は土曜日なので、こちらの会社は土日お休みと聞いていますので大丈夫かとは思いますが」

「そうだね、部署によっては休日出勤もあるけど、総務はだいたい暦通り休めるよ。人によっては残業とかもあるけど、有馬さんの場合は残業はほとんどないと思う。私の仕事を手伝ってもらう感じになる予定だよ」

よろしくおねがいします、と有馬さんは笑顔でお辞儀をした。

来月の頭から、有馬さんは株式会社CAGEに契約社員として入社する。

## ゾンビ者有馬塔子の日記

---

『×月24日

明日はお給料日ー♪♪ ひゃっほーい♪♪

ありまとーこちゃん、今月も1ヶ月よく頑張りました○ (^^)ノシ (>\_\_< )

入社してそろそろ半年かー。働くの初めてだけど、うんうん、よく頑張ってる○ えらいぞわたし！

最初の1ヶ月は、電話うまく取れないし、コーヒーの配膳もうまいことできないしで、続けられるかな、辞めさせられないかなって内心びくびくだったけど。

最近伝票打つので1日の大半過ぎちゃうかな。だってー、出張伝票いっぱいくるー。原則その日のうちに残を合わせなきゃいけないしー。必要かなーと思って簿記3級取ったけど、結局は経理担当の及川さんとか遠藤主任に確認もらわないとだしー。合格証届いたときには報告したらすごく褒めてもらえたけど☆・・・って、それは前にも日記に書いたな。(笑)

そろそろ新卒採用の時期だから、そっちも少し任され始めて、リクルートページからの問い合わせにはわたしが対応してるもん。わからないことあったら鬼塚さんに確認取らなきゃいけないから、折り返しになるけどー。そして鬼塚さんいつもいないけどー。(\_\_\_\_;)

総務の人、みんな鬼塚さんのことゼンメイさんっていうけど、わたしは恐れ多くて呼べないな。(笑) だってすごくすごくお世話になってるもん。

いまだに業務フォローは鬼塚さんがやってくれてる。ううー、迷惑かけないように、早くちゃんと一人前になりたいぞ！

それはそうと、鬼塚さん。カッコイイし、たぶんモテるんだろうけど、毎日毎日定時ダッシュなのはきっと素敵な彼女さんがいるんだろうなー。

恋愛、かぁ・・・。

ゾンビになる前に彼氏いたけどさ。わたしが一度死んだときはすごく悲しんで泣いてくれたらしいけど、よみがえって会ったら化け物みたいにおそろおそろ扱われて、メールも電話も拒否られて、なんかすごく悲しかったんだよねー。友達にしてもさ、似たようなもので。

まあ当分は恋愛とか、そーゆーのはいいかなー。今は仕事を頑張りたい気分。

採用されて半年ってことは、契約切れるまで半年なんだけど、更新されるかな。されるといいな。

まあ、そんなことぐじぐじ悩んでいてもしょうがないから、お仕事頑張らましょー☆ うんうん○



ぐじっていったら、そういえば甘鯛食べたいなー、塩焼きー。

よみがえってからはご飯食べたら胃から腐るって医者にいわれて、もう何年も砂糖だけなんだよねー。会社、食品関連なのになー、くっ、つらいぜ。(笑)

おっと、もうすぐ日付変わっちゃうね。明日のためにそろそろ寝なきゃ。

寝るのは実はいまだにちょっと怖い。このまま目が覚めなかったらいやだなーって。

でもでも！ 今日も今日のうちにやっておきたいことはちゃんとやってしまったから、大丈夫。悔いなんてないよ！

よし、とーちゃん、今日もよく頑張りました○ おやすみなさい○

とーこ』

障害者雇用促進法（正式名称：障害者の雇用の促進等に関する法律）は1960年に制定された身体障害者雇用促進法が前身です。1976年に身体障害者の雇用が事業主の義務とされ、1987年に現在の名称になってから知的障害者が法律の適用対象に含まれました。1997年に知的障害者の雇用も事業主の義務とされ、2006年の改定では精神障害者（精神障害者保健福祉手帳所持者）も実雇用算定の数に含むことができるようになりました。精神障害者に関しては、事業主に雇用の義務はありません。

精神障害者の雇用に関する企業側の理解と、雇用管理ノウハウが十分に普及しているとは言い難い状況です。特開金（特定求職者雇用開発助成金）などにより、「試しに」雇用する企業もありますが、現場で見ている分には「まだまだだなあ」と感じます。

精神障害は、外から解り難い障害です。偏見があることも影響し、オープン／クローズと言われるように、障害を隠すことも多々あります。理解はなかなか進みません。ですからcageは、小さな声でぼそぼそと呟き続けます。

障害者の法定雇用率は現在1.8%。近い将来、精神障害者も雇用義務に含まれるでしょう。そのときには法定雇用率が引き上げられるかもしれません。それにより、精神障害者に限らず、就職を希望する障害者が一人でも多く雇用されることを願っています。

# 総務にゾンビがやってきた！

c a g e : we must Control our AGgressive Emotions.

<http://maruta.be/cage>

Copyright (C) 2011 c a g e All Rights Reserved, Except Illustration.

powered by ブクログのパブー (株式会社paperboy&co.)